

技術の継承が地域をつなぎ未来をつくる

有限会社田中製作所 代表取締役 門田 悦子

【講師プロフィール】

昭和40年生まれ。岡山市出身。町工場の娘として育つ。

岡山県立短期大学にて看護を学び、昭和62年より川崎医科大学附属病院に勤務。病棟看護師として8年間従事した後、フリーランスとして岡山市保健所の訪問指導員、看護学校非常勤講師などを務める。

平成7年、実家である有限会社田中製作所に入社。CAD/CAMオペレーターとしてもものづくりに携わる。平成23年に取締役就任を経て、平成30年より同社3代目代表取締役に就任。

有限会社田中製作所は、昭和47年に実父が創業。分電盤・配電盤などの筐体を製作する計装板金加工業としてスタートし、現在では筐体、機械部品、試作品など多品種のオーダーメイド板金加工を手がける地域密着型企业として展開している。

令和5年には、同社敷地内に『欲しいをつくる工房 瀬戸内板金SQUARE』を開設。地域のアイデアをカタチにする場として、技術の継承と創造の拠点づくりに取り組んでいる。

主な表彰歴（有限会社田中製作所）

令和3年 岡山県職業能力開発協会長表彰（技能士育成優良事業所）

令和6年 岡山県産業労働部長表彰（技能士育成優良事業所）